

経営比較分析表（令和元年度決算）

大阪府 箕面市

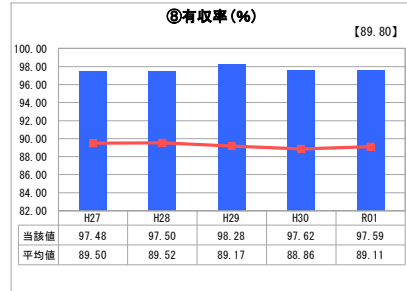
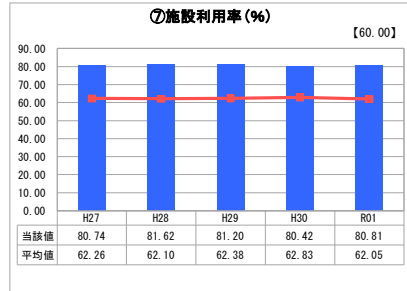
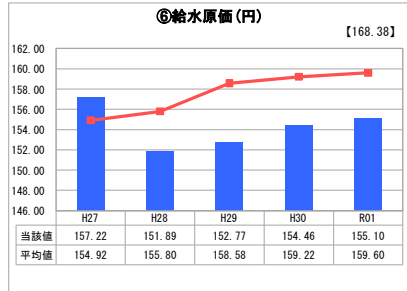
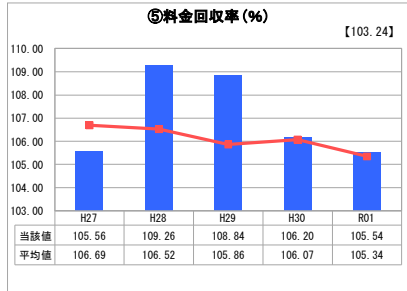
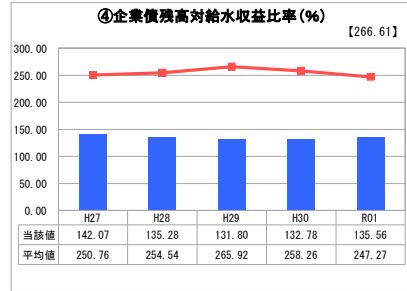
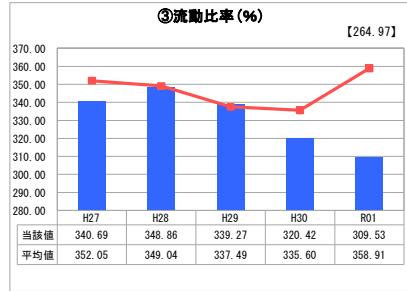
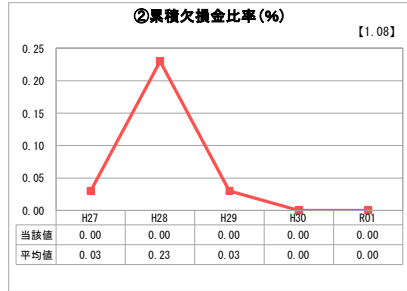
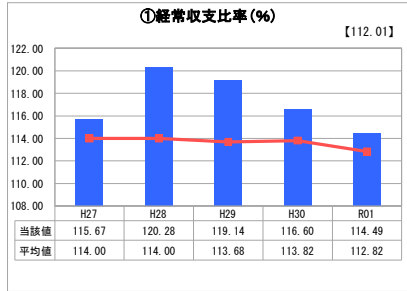
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	82.30	99.99	2,906	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
138,377	47.90	2,888.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
138,360	21.77	6,355.54

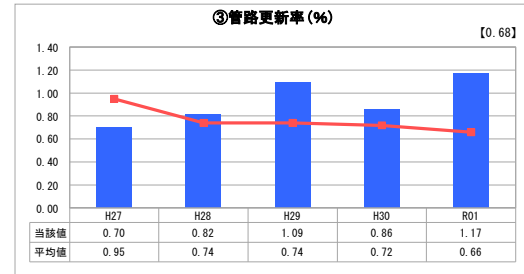
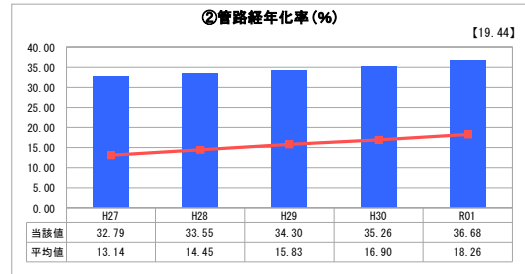
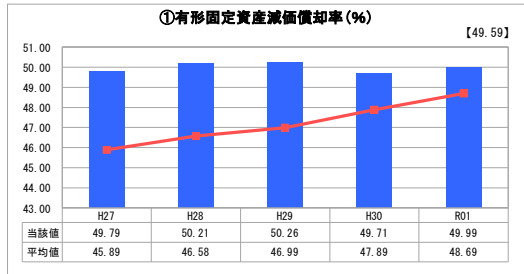
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①⑤⑥については、令和元年度の経常収支比率が、施設・管路の更新に伴う減価償却費の増加等により、前年度に比べて低下しました。また、有収水量は前年度より微増しているものの、経常費用の増加に伴って給水原価も増加したことから、料金回収率は前年度に比べて0.66ポイント低下しました。しかし、いずれも100%を上回る健全な水準を維持しており、類似団体平均値及び全国平均と比べても高い値となっています。

②については、累積欠損金は平成6年度以降発生していません。

③については、工事の竣工時期等による未払金の増減により、流動負債に年度間のばらつきが見られます。令和元年度の流動比率は前年度より減少して類似団体平均値を下回っているものの、100%を上回っており、短期債務に対する支払能力については確保できています。

④については、施設・管路の更新規模とそれに伴う企業債借入額が増えていることから、企業債残高対給水収益比率は前年度に比べて2.78ポイント増加しましたが、類似団体平均値や全国平均と比べて低い水準を維持しています。

⑦⑧については、類似団体平均値や全国平均と比べて施設利用率が高く、有収率も高いことから、本市が所有する施設の効率的な稼働が収益につながっていると考えられます。

2. 老朽化の状況について

①②については、有形固定資産減価償却率、管路経年率ともに、管路等の老朽化進行により、前年度に比べて増加しています。平成27年3月に策定した「箕面市上下水道施設整備基本・実施計画」において、厚生労働省の「実使用年数に基づく更新基準の設定例」を参考に本市の更新基準を定め、同計画に基づき管路の更新を着実に進めています。

③については、令和元年度の管路更新率は1%を超え、類似団体平均値や全国平均を大きく上回る水準となっており、管路・施設の更新に重点を置いた取組の成果が数値となって表れたものと考えています。

全体総括

水道施設や管路の老朽化に伴う大規模な更新時期を迎える中で、「箕面市上下水道施設整備基本・実施計画」に基づき、計画的に施設・管路の更新を実施していきます。

同計画に位置付ける更新を全て実施したとしても、水道料金を値上げすることなく、黒字を維持できる見込みとなっていますが、一般の節水意識の浸透や、新型コロナウイルス感染症拡大が料金収入に及ぼす影響については、慎重に見極めていく必要があります。

このような状況を踏まえた上で、今後も経営基盤を強化し、安全・安心で安定した水道水を供給するために、広域化等による経営効率の向上も視野に入れつつ、引き続き施設の耐震化や老朽管路等の更新を進めるとともに、そのために必要な経費の確保に努めます。